



ロータリー財団プログラムへの「参加」と「資金調達(寄付)」は、ロータリー財団が有効に機能していくための車輪の両輪です。まず初めにプログラムありきです。そして各プログラムを実施するための資金は世界中のロータリアンから寄せられる寄付で成り立っています。

クラブはプログラムに積極的に参加することによって、クラブ会員の皆様の寄付金額以上の財団資金を自クラブの奉仕プロジェクトに利用することも可能です。多くのロータリアンの皆様に、ロータリー財団は「私たちの財団である」と言う所有意識を持っていただきたいと思います。

先般開催されました第1回地区ロータリー財団セミナーならびに6月5日付書面にて各クラブの皆様にご報告させて頂きましたが、当地区はロータリー財団の未来の夢計画に基づくパイロット地区には指定されませんでした。従って今年度よりの4年間、当地区は基本的に従来と同じプログラムが適用されます。各クラブにおかれましては、地区補助金やマッチング・グラントに積極的に参加されますとともに、国際親善奨学生や世界平和フェローの候補生の推薦にもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最近の経済情勢により、ロータリー財団の財務状況にも大きな影響が生じていることは事実です。昨年度はWF(世界財団活動資金)予算額の大幅削減により、マッチンググラントの申請期限が前倒しになるとともに、未来の夢計画の関係で国際親善奨学金の2年マルチ等が急に廃止になるなど、通常では想定できないことが突発的に起こり、多くのクラブにご迷惑をおかけし大変申し訳なく思っております。本年度も厳しい財務状況は続くと思われませんが、ロータリー財団本部では様々な工夫を凝らし財務状況の好転に努力するとともに、未来の夢計画に基づく新しいロータリー財団を目指して奮闘しておりますので、どうか皆様には長い目でご理解を賜り、ロータリー財団に変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



米山記念奨学委員会事業ではロータリアンの寄付金を財源として勉学・研究のために来日し、学校または研究機関に在籍し学ぶ私費外国人留学生に対して奨学金を支給しております。当事業は彼らの留学目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とし、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援する事を目的としております。米山奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本文化、習慣などを学び、社会参加後、社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます。

歴代委員長からの継承事業として「一人でも多くのロータリアンに米山奨学事業のご理解を深めていただく」を今年度活動目標に掲げる所存です。定例となりました各クラブでの奨学生による卓話の実施、ロータリアン・大学関係者への地区セミナーの開催、奨学生・学友・ロータリアン・関係者を交えての親睦パーティ、旅行企画なども引き続き予定しております。

世話クラブの皆様や委員の方々においては活動を通じて身近に接する奨学生達の素晴らしさ、奨学金がいかに有意義に彼らの勉学活動の支えになっているのを感じとって頂ければと思います。

国内のみならず海外で起業をした学友の中には、奨学会に「ご恩返し」として多大なる寄付を頂いた例もあります。卒業後には日本での在留を決意したり帰国を決意したりする等、個々の人生の記念すべきステージに御縁をもって接せられる喜びを小生は日頃より感じております。選考過程では応募者全員を合格にしたいと思いつつ委員会での面接を行っております。後に学生に聞くと、面接の事、面接官の事ははっきりと覚えているとの声。これも当事業が彼らの人生を左右するひとつの証だと思えます。

引き続き皆様のご理解ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

